



平成25年10月28日

各 位

上場会社名 株式会社ジーンテクノサイエンス
 代表者 代表取締役社長 河南 雅成
 (コード番号 4584)
 問合せ先責任者 取締役CFO 三ツ木 勝俊
 (TEL 03-3517-1353)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年8月5日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。
 なお、通期につきましては、従来の業績予想の修正は行っておりません。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	156	△381	△384	△386	△183.33
今回修正予想(B)	156	△178	△180	△182	△86.56
増減額(B-A)	0	202	203	204	
増減率(%)	0.4	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	—	—	—	—	—

修正の理由

当第2四半期累計期間の売上高は、平成25年5月31日付で上市されたG-CSFの原薬を計画どおりに納品し、前回発表予想を達成することができました。
 また、当第2四半期累計期間の研究開発の状況は、GBS-010(PEG-G-CSF)の海外展開を目標に独自開発を進める品目や伊藤忠ケミカルフロンティア(株)と新たに共同開発を開始する品目など、複数の品目で既に開発をスタートさせ、着実に推進しております。一方、その他の品目においても、積極的なアライアンス活動を展開し、複数の企業との交渉を行っておりますが、本格的に開発をスタートさせるまでには若干の期間を要するものと考えております。このような理由から、予定していた一部の研究開発費が第3四半期以降にずれ込み、当第2四半期累計期間の研究開発費は予想を下回る見込みとなりました。
 なお、第3四半期以降の研究開発活動につきましては、バイオ医薬品の開発経験が豊富な人材を2名増員いたしましたので、研究開発の加速化が図れるものと考えております。また、通期では交渉中の品目も開発がスタートすると考えておりますので、研究開発費は予想どおりの水準となる見込みであり、現時点で通期業績予想の修正は行っておりません。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上